

平成18年度災害対策専門研修の実施について	1
ひと未来館企画展	2
平成17年度センター観覧者の状況	4
お客様の声／防災Q&A	5
専任研究員紹介	6
資料室からのお知らせ	7
新財団設立のお知らせ	8

MIRAI

【人と防災未来センターニュース】

平成18年度 災害対策専門研修の実施について

人と防災未来センターでは、人材育成事業の一環として地方公共団体の防災職員などを対象とした「災害対策専門研修」を平成14年から実施しています。多くの方に受講いただき、センターの認知度が高まるとともに、研修への信頼性も増えています。

しかし、開始から3年半が経過し、より一層の研修内容の充実を図るため、研修を通じて「どのような能力を身につけて欲しいのか」「どのような人材を育成するのか」などを中心に議論し、カリキュラムの見直しを行いました。主な変更点は、受講者の職階ではなく、受講者がステップアップしていけるようなカリキュラムに変更するとともに、各コースにおいて必要となる知識や能力の明確化を図りました。

また、テーマ・目的を絞った特設コースについても内容を一新しました。

カリキュラム見直し後初めての「マネジメントコース」を去る5月22日（月）から6月16日（金）にかけて実施しましたが、近畿地方や関東地方を中心に北は岩手県から南は福岡県まで全国各地から、府県職員、市町職員を中心として、国の職員など幅広い団体から参加をいただきました。

受講者からは、「各コマの狙いが十分理解でき基礎的事項を習得できた。」「経験、研究を踏まえた講義内容であり説得力がある。また、課題点についてもしっかりと指摘がなされており本音の部分も聞くことができた。」などの非常に高い評価をいただきました。

今後は上記評価やその他の反省点等を踏まえ、マネージメントコースや特設コースを順次実施していきます。



図上演習の風景

コース名	内容	日程
マネジメントコース：ベーシック	災害のメカニズムや阪神・淡路大震災の経験を踏まえた各部門の災害対策のあり方など基礎的事項について体系的に学習する。	（初級）平成18年5月22日～平成18年5月26日 終了 （後級）平成18年11月6日～平成18年11月10日
マネジメントコース：エキスパート	災害対応の具体的な事例や演習などを通して、大規模災害発生時に各種の対応が同時並行的に展開する状況を構造的・総合的に考え、これに対応する能力を向上させる。	（初級）平成18年8月5日～平成18年8月16日 終了 （後級）平成18年10月16日～平成18年10月27日
防災監コース（仮称）	政策的判断を迫られる事項等について演習等で学び、地方公共団体のトップを補佐する者としての能力の向上をめざす。	平成18年11月13日～平成18年11月14日
図上演習・広報マスコミコース	マスコミ対応を含め災害対応業務を効率的にさばくためのノウハウを習得させる。	（第1回）平成18年7月31日～平成18年8月2日 受付終了 （第2回）平成18年2月7日～平成19年2月9日
地域防災計画コース	地域防災計画や、アクションプログラムなどを対象として、事例を踏まえながら実効性の高い計画作成の手法や考え方について学ぶ。	平成19年2月1日～平成19年2月2日
災害発生時の危機管理対策と被災者・救護者のこころのケアコース	災害発生時のこころのケア対策のあり方を習得する。 ※主催：こころのケアセンター 共催：人と防災未来センター	平成18年11月14日～平成18年11月15日

厳選された絵本を一堂に集めた
ひと未来館企画展
「絵本ひろば'06
春こころにときめき117冊」を開催



4月18日から6月11日まで、ひと未来館3階ふれあいステージで、毎年恒例の「絵本ひろば'06 春こころにときめき117冊」を開催しました。

このイベントは、毎年春と秋の2回に行われている人気企画で、絵本のコレクションを一堂に展示紹介するものです。通算7回目を迎えた今年春のテーマは「こころにときめきをくれる絵本」。楽しさやわくわく感、元気などを与えてくれる117冊を厳選しました。

会場にLove（愛）やFamily（家族）、Fantasy & Adventure（空想・冒険）といった8つのコーナーを設け、絵本を紹介する本のコーナーも併設。訪れた人がお気に入りのものを探しやすく、じっくりと味わっていただけるよう工夫して展示しました。

絵本展があると聞けば必ず行くという神戸市内の女性は、印象に残った一冊に「わたしのくまさんに」（BL出版）を挙げ「まさにお母さんに紹介したくなる本。ぜひ子どもにも読ませたい。クマと人が心で結ばれているような不思議な感覚がいい」と絶賛。「ぐるんぱのようちえん」（福音館）を手にとった女子小学生も「最初はひとりぼっちだった子が、人気者になっていくところがいい。私も先生になってそんな生徒の力になりたい」と熱く夢を語ってくれるなど、幅広い年齢の方々に会場へ来ていただきました。

このほか、絵本にちなんだ多彩な催しを展開。4月22日・23日の両日には、絵本づくりのワークショップを



117冊の選りすぐりの本が並んだ会場は、幅広い年齢層のお客様が来場



特に親子連れに好評だった絵本づくり。つい時間が経つのを忘れるほど夢中に

同会場内で開き、親子連れや友達同士などのペア25組50名が挑戦しました。

1枚の紙を交互に切り貼りしたり、本の台紙を切り抜いたり。さし絵やおはなしの創作と盛りだくさんの内容。即席で発表会を行った参加者は「限られた時間の中で、世界でただ一冊のオリジナル作品が出来上がった。仕上がりも上々」と作品を手にとった表情でした。

また、個人客が多かったゴールデンウィーク期間中には、特別企画「おはなし・ひろば」を同会場内で実施しました。

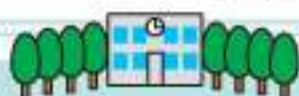
センターのボランティアが日替わりで絵本の読み聞かせや紙芝居を行い、「おおきなかぶ」「はらぺこあおむし」などの昔話、逸話を紹介。地域の親子連れなど約300人が参加しました。

また、5月20日は隣接する「交流の広場」で「絵本の朗読ステージ」が行われ、読み手の味わい深い語りを通じて、ことばの響きに耳を傾ける家族連れの姿などが見られました。

今後も当センターでは多彩なイベントを企画しますので、どうぞご期待ください。



語り部ボランティアらが味のある語りで出演した「おはなしひろば」



夏休み防災みらい学校2006を開校します。 8/26(土)・8/27(日) 参加費無料

平成14年4月に人と防災未来センターがオープンして以来、阪神・淡路大震災の経験と教訓を後世に語り継ぎ、発生が予測される自然災害の被害の軽減に貢献していく施設として世界から注目を浴び、大勢の来館者を迎えています。

当センターの役割や取り組みを、近隣住民をはじめ、みなさまにわかりやすく紹介し、私たちの取り組みについての理解を深めていただくため、センター一丸となってこの夏、「夏休み防災みらい学校」を開校します。

特に震災後に生まれ、これから次世代を担っていく子どもたちにも、親子で震災の学びや防災知識を楽しみながら身に付けていただける機会です。子どもから大人まで興味あるテーマに沿った多彩なプログラムが展開されますので、是非、ご家族でご参加ください。



昨年の河田センター長による基調講演風景

日時 平成18年8月26日(土)、27日(日) 午前10時～午後4時

場所 防災未来館ガイダンスルーム1・2

内容 ・河田恵昭センター長の基調講演
・研究員による防災教室
・ロープ・三角巾の体験実習
・ワークショップ等

対象 小学生以上、親子で参加など各プログラムにより設定されていますので、ご確認ください。

その他 プログラムはすべて、事前申し込みいただけます。定員になり次第締め切りとなります。定員に空きがある場合は当日参加も可能です。

問い合わせ

当センター企画運営部
「防災みらい学校」係
TEL:078(262)5502
FAX:078(262)5509
Eメール:hho@dri.ne.jpまで。



平成17年度観覧者の状況

人と防災未来センターには、全国各地から多くの方が来館されています。このたび、平成17年度の観覧者の動向をまとめましたのでお知らせします。

1.概況

平成17年度の観覧者数は約53万1千人で、前年度の観覧者数約54万人に比べて、約9千人の減となりましたが、3年連続で50万人を超える観覧者にお越しいただきました。年齢区別では、大人が52.1%、学生等が47.9%ですが、学生等の割合が増加傾向にあります。

一方、団体・個人別では、個人が36.9%、団体が63.1%となっており、団体予約の割合が増加しています。また、団体予約観覧者数のうち、県内と県外の比率を見ますと、県内は24.4%、県外は75.6%であり、県外からの比率が上昇傾向にあります。

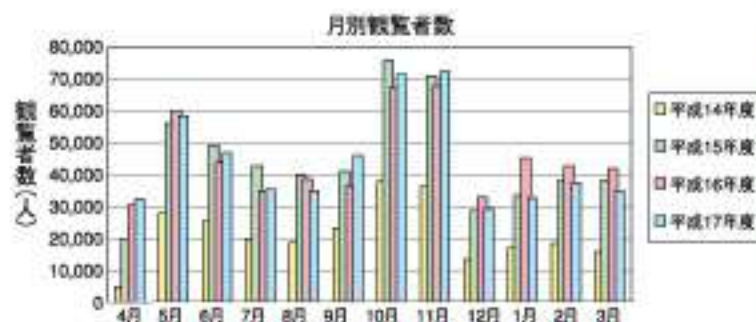
年齢区分観覧者数

(上段:観覧者数:人)
(下段:構成比率)

区分	観覧者数計		防災未来館		ひと未来館	
	平成16年度	平成17年度	平成16年度	平成17年度	平成16年度	平成17年度
大人	293,382 (54.3%)	276,940 (52.1%)	203,203 (37.6%)	194,584 (36.8%)	90,179 (16.7%)	82,356 (15.5%)
高校・大学生	34,832 (6.4%)	41,526 (7.8%)	26,922 (4.9%)	30,236 (5.7%)	7,910 (1.5%)	11,290 (2.1%)
小・中学生等	212,408 (39.3%)	213,019 (40.1%)	132,284 (24.5%)	136,696 (26.1%)	80,124 (14.8%)	74,323 (14.0%)
計	540,622 (100.0%)	531,485 (100.0%)	362,409 (67.0%)	363,516 (68.4%)	178,213 (33.0%)	167,969 (31.6%)

2.月別観覧者数

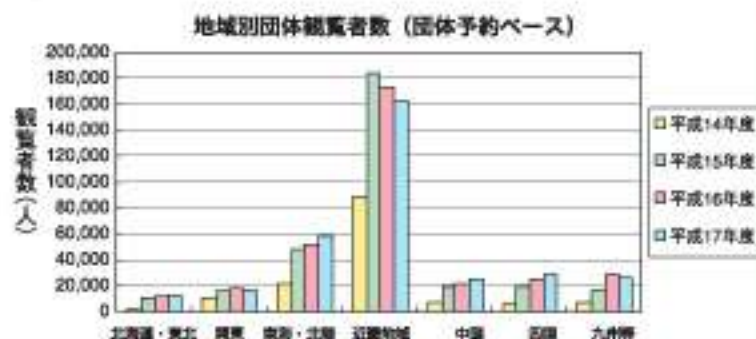
月別観覧者数は、修学旅行シーズンである春の5月と秋の10、11月が特に多くなっています。



3.地域別観覧者数

どの地域からセンターにきているかを団体予約観覧者について調べたところ、右図に示すとおり全国に対して順調に浸透しつつあることがわかります。

都道府県別では、愛知県、和歌山県、高知県など地震発生が想定される地域からの観覧者が多くなっています。



4.学校関係の観覧者の状況

(単位:人)

全団体予約観覧者に占める学校関係の割合は増加傾向にあることがわかります。

	全体	一般	学校関係	学校関係		
				小学校	中学校	高校以上
平成14年度	147,515	91,589	55,926	10,534	23,408	21,984
平成15年度	316,757	200,525	116,232	28,981	58,073	29,178
平成16年度	333,833	192,071	141,762	38,321	74,076	31,365
平成17年度	335,567	183,423	152,144	40,607	73,172	38,365
計	1,133,672	667,608	466,064	116,443	228,729	120,892

来館者の声

防災未来館

- ・もうすぐ地震が来るのじゃないかなどという情報を耳にするので、1,17シアターが怖かった。(14歳女性)
- ・天災というものはいつ来るのか分からず、急にいつも隣にいたはずの人が消えてしまうかもしれないので、とても恐ろしい。それは自分にとって明日にでも起こりうることであることを改めて自覚した。一瞬、一瞬を大事に生きていきたいです。また、防げることは防ぐ、防災への意識を強く持ちたいと思いました。(19歳女性)
- ・私はテレビで震災の報道を見て、地震でこんなに街が壊れてしまうなんて本当に驚きました。そしてここへ来て、実体験をしたような恐怖も味わい、改めて自分の身に置き換えて考えさせられました。子どもたちともこれからも機会あるごとに防災について話し合っていきたいです。心を備めた神戸の方々に勇気と生きる力、命の尊さを教わりました。(36歳女性)
- ・映像や写真を通し、大変貴重な体験をさせて頂きました。私は生まれてからここまで大きな地震にあったことがありません。人間の偉大さ、強さ、優しさを強く感じました。この体験を無駄にしないよう、忘れないよう、心に残したいと思います。ボランティアの皆さまも大変ご苦労様です。(44歳女性)
- ・じっくり見学しました。とても衝撃的で心が痛みます。災害はこの世の中になくするように望みます。(大韓民国)
- ・阪神・淡路大震災の映像を見てすごく衝撃を受けました。自然の破壊力の大きさは信じられません。日本人はとて強く、災害を乗り越えて記念館を建てました。日本が二度とこのような災害に遭わないように願います。(台湾)

ひと未来館

- ・ブナ林からぬけてきたところがすごくよかったです。命の大切さを改めて知りました。(14歳女性)
- ・楽しかった。人間と地球が大好きです♥(14歳女性)
- ・とってものしかった!いろいろな勉強になりました!また来たい♥(14歳女性)
- ・やすらぎの部屋がとても気持ち良く、快適な時を過ごすことが出来ました。(18歳女性)
- ・久しぶりに気持ちの良いミュージアムを発見した感じです。大震災や自然を通じ、子どもへもいのちの尊さをわかりやすく伝えているほか、展示も工夫されていて良い。また、案内の方も丁寧に話してくださいました。また来てみたいです。(38歳男性)
- ・毎日仕事が大変だ...と、愚痴と文句が多かったくらしの中で今、生きていること自体が素晴らしいことだったのだと、感動することが出来ました。これからは人のため、自分のため、毎日を幸せに楽しく暮らしていきたいと思えます。ここに来て良かったです。もっと、ここをみんなに宣伝したいです。(44歳女性)
- ・心に優しく、楽しい数々(の展示)を楽しませて頂きました。脳活性化にも役立っていったと思えます。(74歳女性)

防災 Q & A

専任研究員が質問に答えるコーナー

回答：堀江専任研究員

Q 阪神・淡路大震災の死者数の公式統計について教えてください。

A 総務省消防庁は、平成18年5月19日に阪神・淡路大震災の死者、行方不明者、負傷者の人的被害や住家被害などの被害状況の確定報を発表しました。これによると阪神・淡路大震災の死者数は6,434人(震災関連死を含む)と報告されています。地震による死傷者については右表の国の認定基準に基づいて、また、震災関連死は

災害との因果関係に基づいて市町村が認定をしています。今回の発表によって地震発生から11年を過ぎて公式統計が確定しましたが、その間に数回にわたって死者数は修正されてきました。これは甚大な被害であったため、認定に時間が必要となったことや、集計の確認や見直しが行われたことなどによるものです。

死者に関する災害の被害認定基準

被害種類	認定基準
死者	当該災害が原因で死亡し、死体を確認したもの、または死体を確認することができないが死亡したことが確実なものとする。

[関連詳細情報]

- ・ 阪神・淡路大震災の被害統計：総務省消防庁ホームページ
<http://www.fdma.go.jp/detail/672.html>
- ・ 災害の被害認定基準：内閣府ホームページ
<http://www.bousai.go.jp/hou/unyou.html>

専任研究員紹介

人と防災未来センターでは、総合的・実践的な防災の専門家を育成することを目指し、今年4月に専任研究員を新たに2名採用しました。専任研究員は9名体制となり、阪神・淡路大震災の教訓を活かす防災研究への取り組みに一層の努力を重ねていきます。



鈴木進吾

専門分野:津波防災工学

経歴:京都大学大学院情報学研究所社会情報学専攻博士後期課程単位取得退学



堀江啓

専門分野:建築耐震工学、都市安全管理学

経歴:神戸大学大学院自然科学研究科地域空間創生科学専攻博士後期課程修了、防災科学技術研究所地震防災フロンティア研究センター研究員

福留専任研究員 新潟大学復興科学センターの特任助教授へ

人と防災未来センター開設時からの一期生としてご活躍されていた福留邦洋専任研究員が、5月1日付けで新潟県に新設された新潟大学復興科学センター特任助教授として新たな一歩を踏み出すこととなりました。そこで、去る4月28日に専任研究員としての最終講義が行われました。

講義では、人と防災未来センターでの約4年間に渡る研究内容や国内外での災害調査や現地対応支援の経験などについて、苦労話を交えながらお話していただきました。

その講義内容をいくつかご紹介します。まず、災害対応の現地支援事業の一環として実施した災害調査・研究活動では、他分野の研究者との交流を通して、研究への考え方や取り組み方の違いに刺激を受けると同時に、自分の専門性を高め、研究領域を広げることができたことを大切にしたいとお話がありました。また、手探りの中でスタートした災害対策専門研修事業では、自治体職員と強いネットワークを築ことができ、このような一つ一つの積み重ねが、2004年に発生した新潟県中越地震における災害対策本部の対応支援活動に活かされたのではないかと考えているとお話がありました。そして、新潟大学復興科学センターでは、新潟県中越地震に見られたように、阪神・淡路大震災とは異なる災害の物理的事象、社会的事象の理解に努め、復興施策のあり方を探求していくとともに、人と防災未来センターが掲げる実践的研究とは何かについて、これからも自問自答しながらその答え探しをしていきたいとの決意をもって講義は終了しました。

最後に福留専任研究員から人と防災未来センターでの一番の思い出と、今後の抱負についてメッセージをいただきました。

「人と防災未来センターでは本当にお世話になりました。思い出は数限りなくありますが、やはりこのセンターに来なければ出会えなかった人々とさまざまな活動を行えたことは人生の大きな経験となりました。この経験を糧として新潟における復興支援や研究に取り組み、OB(リサーチフェロー)として頑張っているねと言われるようになっていきたいと思っています。引き続きご指導、ご支援いただきますようお願いいたします」。

今後はリサーチフェローとして、人と防災未来センターの活動に協力していただきます。



インターネットでも震災資料に触れてみよう!

防災未来館三階で展示されている資料の他にも、センターにはたくさんの震災資料が大切に保存されています。センターの所蔵資料や、その他の震災資料について知りたい時に便利なのがインターネット検索や、GIS「私たちの個人復興史」です。インターネットが利用できればいつでもどこでも簡単にご覧いただけるこれらのシステムをぜひご活用ください。

人と防災未来センター情報検索システム



「人と防災未来センター情報検索システム」では、センター所蔵の一次資料（原資料）や二次資料（図書など刊行物資料）の検索ができます。一次資料については目録や、資料によっては画像も閲覧できます。二次資料については、目次も表示されます。

こんな検索をしてみよう!

- ・3階の展示資料のデータを調べてみよう!
- ・写真資料をいろんなキーワードで探してみよう!(震災当日、仮設住宅、被害など)

ここがポイント!

・センター所蔵の一次資料と二次資料が検索できます。探している資料を来室前に簡単に検索でき便利です。

GIS「わたしたちの個人復興史」



GIS「わたしたちの個人復興史」では、個人のサポーターの方々により、写真や文章などが登録されています。兵庫県内の12市(旧10市10町)の地図から、カメラのマークをクリックすると、震災に関する写真やコメントを見ることができます。

写真を探してみよう!

- ・自宅周辺地域や、訪問した地域などの震災の被害の様子を調べてみよう!

ここがポイント!

- ・地図の上から資料が探せます。
- ・ご自宅からお手持ちの写真を登録することもできます。

検索システムとGIS「個人復興史」の画面にはセンターホームページからすすめます。



防災実務者のための学術誌「減災」Vol.1 発売!

人と防災未来センターでは中央省庁をはじめとする行政機関やライフライン企業、研究者の方々の支援を得て、このたび、実践的な減災研究の学術的な価値を称揚し、同時に実務家のニーズにも応えることができるような新たなタイプの学術誌「減災」を創刊いたしました。



内容

- カラーグラフ 阪神・淡路大震災の記憶
- 招待論文 「減災」と地域防災
減災への行政的アプローチ
防災研究の枠組みの変化
防災に関する国際的アプローチ
新たな枠組みに基づく防災計画構築の試み
- 特集：阪神・淡路大震災レビュー
全国の書店にて販売しています。 定価：2,800円(税込み)
お問い合わせ：総務課：(078) 262-5060

「友の会」会員募集

人と防災未来センター友の会はセンターの活動に協力し、連携しつつ社会の防災力の向上に寄与することを目的に設立し活動を行っています。



会員特典

1. センター無料入館
2. 招待券送呈
3. 情報提供
4. 各種行事に参加など

10月以降に入会された方は半額になります。
お問い合わせ (078) 262-5060
普及事業部総務課内友の会事務局

年会費

- 個人会員 3,000円
- 法人会員 一口 50,000円
- 郵便振替：00940-2-160211
- 口座名：阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター友の会

新財団設立のお知らせ

平成18年4月1日に当センターを運営している(財)阪神・淡路大震災記念協会と(財)21世紀ヒューマンケア研究機構が統合され(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構となりました。実践的な政策提言を行う総合的なシンクタンクとして幅広い研究領域への明確な対応を図るとともに、震災の経験と教訓を継承・発信する諸事業を展開します。



MIRAI

【人と防災未来センターニュース】Vol.18

発行/ 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

お問い合わせ先

(財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
阪神・淡路大震災記念



〒651-0073 神戸市中央区臨海町通1-5-2
総務課 / TEL (078) 262-5060
総務案内 / TEL (078) 262-5050
ホームページアドレス / <http://www.dri.ne.jp/>

●開館時間 9:30~17:30(入館は16:30まで)
ただし、7~9月は9:30~18:00
(入館は17:00まで)
金・土曜日は19:00(入館は18:00まで)

●休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)
年末年始の12月31日と1月1日
※ゴールデンウィーク(4月28日~
5月5日)期間中は無休

●入館料金(団体は20名以上)

区分	防災未来館		ひと未来館		併用	
	個人	団体	個人	団体	個人	団体
大人	500円	400円	500円	400円	800円	640円
高校・大学生	400円	320円	400円	320円	640円	510円
小・中学生	250円	200円	250円	200円	400円	320円

※兵庫県内の小・中学生はココロカードを提示すれば無料。
障害をお持ちの方及び兵庫県内在住で65歳以上の
方は上記の半額。障害者手帳又は年齢・住所のわかる
ものを提示ください。

交通マップ



- 交通 鉄道/阪神「三宮駅」「春日野駅」から徒歩約10分、
JR「灘駅」南口から徒歩約12分。
阪急「王子公園駅」西口から徒歩約20分。
バス/JR・阪神・阪急・神戸市営地下鉄「三宮駅」
から約15分。
神戸市営バス
三宮駅南口から約15分間隔で運転。
阪神電氣バス
三宮駅南口から約30分間隔で運転。
車 / 阪神高速神戸線「生田ランプ」から約8分。
阪神高速神戸線「東灘ランプ」から約4分。
阪急・阪神・JR「三宮駅」から約10分。

●駐車場 有料駐車場(普通車100台駐車可能)のほか
近所にも有料駐車場があります。

●バス停情報

予約制/無料
観光予約時に併用利用のご予約をお願いします。

ご意見・ご感想は事務局まで。

平成18年6月発行